

官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM) 審査・評価委員会
標準活用加速化支援事業分科会 結果概要

1. 開催日時・場所

令和3年5月20日(木) 16:30～17:30 オンライン・書面開催

2. 委員

上山隆大座長、渡部俊也委員、立本博文委員

3. 議事・結果概要

(1) 令和3年度標準活用加速化支援事業について

標準活用加速化支援事業のスケジュール等について、分科会として了承。

(2) 標準活用加速化支援事業実施方針案の決定方法について

決定方法について、分科会として了承。

(参考)決定方法

標準の戦略性、標準活用の効果、継続性、投資誘発効果の4つの視点を6段階(A～F)で評価し、合計点で支援対象を決定(150点満点)。1以上の最低評価(F)又は2以上の低評価(E)があった場合、合計点に関わらず、支援の対象外とする。

(3) 令和3年度標準活用加速化支援事業の対象施策について

支援対象とする3施策・配分額等を、実施方針(案)として決定。

なお、座長・委員コメントは担当省庁に報告済。課題は、施策に反映予定。

4. 参考(審査・評価結果(合計点/満点)、分科会での主なコメント)

① スマートシティ分野施策(環境省) 130点/150点

- ・ 目標の達成のためにはより多くの金額が必要ではないか。
- ・ 標準戦略の検討の加速化が必要。
- ・ 事業の継続性が期待できる体制となっているのか不明。

② スマートシティ分野施策(国土交通省) 124点/150点

- ・ 単なる広報活動を行うように見える。
- ・ 実施主体は、海外事業に関する知見を有しているのか、また、事業の継続性が期待できる体制となっているか、疑問。
- ・ 取組の対象分野を十分に絞り込めていないように見える。

③ Beyond 5G 分野施策(総務省) 119点/150点

- ・ 単なる技術開発であって、市場拡大を目的にしているのか。
- ・ 知財の観点からの戦略形成について更なる検討が必要。
- ・ NICT の予算で対応すべき内容とも思える。

以上